



2022年2月22日(火)11:00～
衆議院第1議員会館多目的ホール

身体障害者補助犬を推進する議員の会 2022 総会・勉強会 次第

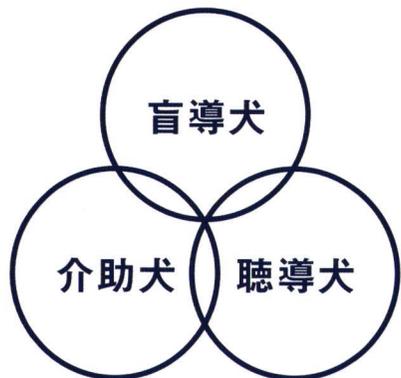
【司会】阿部知子事務局長

1. ご挨拶
尾辻秀久会長
2. 身体障害者補助犬の現状について（厚生労働省ヒアリング）
障害保健福祉部企画課自立支援振興室室長 奥出 吉規（おくで よしのり）氏
（随行者）
障害保健福祉部企画課自立支援振興室室長補佐 大城 正志（おおき まさし）氏
障害保健福祉部企画課自立支援振興室社会参加活動支援係長
田中 匡（たなか ただし）氏
3. 質疑応答
4. 盲導犬・聴導犬・介助犬ユーザーさんのお話と
「お仕事」デモンストレーション
・盲導犬ユーザー塚越豊（つかごし ゆたか）氏&盲導犬ピッケル
・聴導犬ユーザー松本江理氏（まつもと えり）氏&聴導犬チャンプ
・介助犬（PR犬によるデモ）
5. 法成立 20 周年の取り組みについて
・補助犬法成立 20 周年記念シンポジウム（案）
日 時：5月20日（金）
テーマ：補助犬法成立 20 年を振り返る
～補助犬とともに歩むこれからの社会～（仮題）
・HP制作、記念冊子制作について
6. その他

ANSWER

補助犬とは

身体障害者補助犬



の総称。

身体障害者の日常生活を
様々な形でサポートする
犬たち全てを指しています。

<<<<< 盲導犬…? 介助犬…? 聴導犬…?

TOPICS

実は、日本には身体障害者補助犬法という
法律があります。知っていましたか?

身体障害者補助犬法は、身体障害者の自立と社会参加
を目的とし、2002年5月22日に成立しました。
全ての公共施設・公共交通機関や医療機関、デパート、
宿泊施設、映画館やレジャー施設、個人店舗など全ての
民間施設で補助犬の受け入れが義務付けられています。

DONATION [寄付のお願い]

皆様よりいただきました会費とご寄付に関しましては、身体障害者補助犬ユーザーである身体障害者の自立と社会参加の促進のため、また、良質な補助犬の育成を支援するための活動に、有効に活用させていただきます。

【郵便振込】00130-1-52382

加入者名:NPO 法人日本補助犬情報センター

【銀行振込】みずほ銀行 三鷹支店 普通口座 1909832

名義: 特定非営利活動法人日本補助犬情報センター

※銀行振込の際は、氏名の前に必ず「カイヒ」「キフ」とわかるように、ご入力下さい。

※銀行振り込みで受領書ご希望の方は、ご住所とお名前を別途ご連絡下さい。後日、受領書をお送り致します。

MEMBER REGISTRATION [会員登録]

会員になっていただくと、最新の補助犬情報や学術的情報、ユーザーさんの声などを掲載したニュースレターをお送りするほか、講演会やセミナー、イベント等のご案内をお送りいたします。

個人会員: 年会費 1口 3,000円

団体会員: 年会費 1口 30,000円

会費は上記の振込口座にご入金願います。年会費有効期限は4月1日から翌年の3月31日までとなります。

会員登録申込書

ふりがな

氏名:

〒

ご住所:

E-mail

※補助犬や人と動物の関係学関連のメールニュース配信(不定期)を行っております。

TEL

FAX

この申込書をFAXにてお送り下さるか、E-mailにて上記の内容をお知らせください。

FAX:045-275-7771

E-mail:info@jsdrc.jp

※当会では、個人情報保護法を遵守し、皆様からいただいた個人情報を、無断で第三者に提供することはありません。

何補 だ助 るろう? 犬って

<http://www.jsdrc.jp/>



特定非営利活動法人
日本補助犬情報センター
JAPANESE SERVICE DOG RESOURCE CENTER



はじめまして！ 日本補助犬情報センターです。

日本で唯一「情報提供・相談業務」を専門に行い、国内外の調査研究・アドボカシー活動をしている団体です。「補助犬」というキーワードを切り口とした、障害理解やUD(ユニバーサルデザイン)情報を発信しています。全国の補助犬ユーザーや関係各所からのご相談を受け、その事例に応じた情報提供や連携団体との調整、またその解決のために駆けつけることもあります。小学校等各種学校での「補助犬介在教育」も実施。全国の「補助犬とユーザー」ペアが豊かな生活を送るために必要な啓発活動、イベント企画など、様々な情報発信・サポートを行っています。

**私たちが目指す社会は、「全国の補助犬ユーザーと補助犬たちが安心して活躍できる」
当会の役割がなくなる社会です！**



犬と人、
人と人をつなぐ

障害者理解
のための
情報拠点

対話による
プラット
フォームへ

ACTIVITY CONTENT [主な事業内容]

- ◇国内外の補助犬に関する調査研究と情報提供
- ◇障害のある方、専門職、自治体、一般、メディア等からの補助犬に関する質問・相談・取材対応
- ◇講演会、イベント、職員研修などの依頼対応 etc...

その他、補助犬ユーザーの自立と社会参加推進 良質な補助犬育成に必要な様々な事業を実施しております！

ACTIVITY RESULTS [活動実績]

- ◇厚生労働省ほじょ犬もって知ってBOOK監修
- ◇補助犬法啓発イベント 企画・監修・運営等
- ◇身体障害者補助犬を推進する議員の会 事務局支援
- ◇24時間テレビチャリティ助成補助犬DVD、クイズBOOK監修
- ◇東京スカイツリータウン【施設UDアドバイザー】
障害当事者講師によるセミナーコーディネート、障害者対応やUDに関するコンサルティング等、お気軽にご相談ください。

MATERIAL [資料・DVDなど]

- ◇補助犬同伴受入れマニュアル
 - ◇補助犬ってなあに？クイズブック(子ども向け)
 - ◇補助犬関連DVD(子ども向け、障害理解、受入れ方)etc...
- その他多数、詳細は Website をご覧下さい。

無料
配布中！



COMMENTARY

盲導犬 Guide dogs

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角、段差を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけています。



介助犬 Service dogs

手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行います。歩行介助を行う介助犬もいます。介助犬と書かれた表示をつけています。



聴導犬 Hearing dogs

音が聞こえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。外では後ろから来る自転車や車のクラクション、非常ベルの音などを教えます。聴導犬と書かれた表示をつけています。



イラスト：MIKI ANDO & LEON

さらに詳しく知りたい方はこちら

特定非営利活動法人日本補助犬情報センター

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1688-1-203 TEL:045-275-7770 FAX:045-275-7771 E-mail:info@jsdrc.jp

HP [http://www.jsdrc.jp/]・Facebook [https://www.facebook.com/jsdrc.hojoken] で補助犬情報&UD情報発信中！

身体障害者補助犬を推進する議員の会 名簿

2022年2月21日現在 59名

| 自 民 | |
|----------|--------|
| 衆議院 (22) | |
| 逢沢 一郎 | 1-505 |
| 岩屋 毅 | 2-1209 |
| 大西 英男 | 2-510 |
| 柿沢 未途 | 2-611 |
| 上川 陽子 | 2-305 |
| 神田 憲次 | 1-1124 |
| 北村 誠吾 | 2-714 |
| 工藤 彰三 | 2-218 |
| 後藤 茂之 | 1-704 |
| 櫻田 義孝 | 2-1117 |
| 笹川 博義 | 2-316 |
| 鈴木 英敬 | 1-614 |
| 鈴木 淳司 | 1-1110 |
| 田中 英之 | 2-604 |
| 田村 憲久 | 1-902 |
| 中谷 元 | 2-1222 |
| 橋本 岳 | 2-306 |
| 藤井 比早之 | 1-615 |
| 船田 元 | 2-605 |
| 松野 博一 | 1-502 |
| 御法川 信英 | 1-901 |
| 宮下 一郎 | 1-1207 |
| 参議院 (7) | |
| 石田 昌宏 | 参-1101 |
| 今井 絵理子 | 参-315 |
| 小川 克己 | 参-405 |
| 大家 敏志 | 参-518 |
| 尾辻 秀久 | 参-515 |
| 羽生田 俊 | 参-319 |
| 松下 新平 | 参-824 |
| 29 | |

| 立 憲 | |
|---------|--------|
| 衆議院 (7) | |
| 阿部 知子 | 1-424 |
| 大河原 雅子 | 1-517 |
| 逢坂 誠二 | 2-517 |
| 篠原 孝 | 1-719 |
| 中川 正春 | 1-519 |
| 松木 けんこう | 1-324 |
| 笠 浩史 | 1-408 |
| 早稲田 ゆき | 2-1012 |
| 参議院 (5) | |
| 川田 龍平 | 参-508 |
| 小西 洋之 | 参-915 |
| 野田 国義 | 参-323 |
| 真山 勇一 | 参-320 |
| 横沢 高德 | 参-702 |
| 12 | |

| 公 明 | |
|---------|-------|
| 衆議院 (4) | |
| 角田 秀穂 | 2-309 |
| 中野 洋昌 | 1-722 |
| 古屋 範子 | 2-502 |
| 吉田 久美子 | 2-504 |
| 参議院 (6) | |
| 下野 六太 | 参-913 |
| 杉 久武 | 参-615 |
| 竹谷 とし子 | 参-517 |
| 平木 大作 | 参-422 |
| 安江 伸夫 | 参-312 |
| 山本 博司 | 参-911 |
| 10 | |

| 共 産 | |
|---------|--------|
| 衆議院 (3) | |
| 笠井 亮 | 2-621 |
| 高橋 千鶴子 | 2-904 |
| 本村 伸子 | 1-1106 |
| 参議院 (2) | |
| 倉林 明子 | 参-1021 |
| 小池 晃 | 参-1205 |
| 5 | |

| 国 民 | |
|---------|--------|
| 衆議院 (2) | |
| 玉木 雄一郎 | 1-706 |
| 西岡 秀子 | 2-1124 |
| 参議院 (0) | |
| 2 | |

| み ん な | |
|---------|-------|
| 衆議院 (0) | |
| 参議院 (1) | |
| 浜田 聡 | 参-403 |
| 1 | |

人 事

| | | |
|-------|--------|-----------------|
| 会 長 | 尾辻 秀久 | 自 民 |
| 幹 事 長 | 田村 憲久 | 自 民 |
| 幹 事 | | 自 民 |
| 幹 事 | 古屋 範子 | 公 明 |
| 幹 事 | 篠原 孝 | 立 民 |
| 幹 事 | 小西 洋之 | 立 民 |
| 幹 事 | 高橋 千鶴子 | 共 産 |
| 事務局 長 | 阿部 知子 | 立 民 |
| 事 務 局 | 橋爪 智子 | 日本補助犬情報センター専務理事 |

身体障害者補助犬を推進する議員の会 会計報告

会計期間 2020.11.21—2022.2.14

【収入の部】

| | |
|--------|-----------|
| 前期繰越金 | 1,481,302 |
| 会費 | 438,000 |
| 受取利息 | 21 |
| (収入小計) | 438,021 |
| <hr/> | |
| 合 計 | 1,919,323 |

500×876名(累計)

【支出の部】

| | |
|------------------------|-----------|
| 調査・事務委託費 | 30,000 |
| 「補助犬の日」啓発動画 作成・編集費用 | 182,000 |
| 第13回学術大会協賛金 | 50,000 |
| コピー代 | 8,058 |
| 雑費 | 2,700 |
| 振込手数料 | 3,520 |
| (支出小計) | 276,278 |
| 次期繰越金 | 1,643,045 |
| <hr/> | |
| 合 計 | 1,919,323 |

NPO法人日本補助犬情報センター
講師謝金、ユーザー出演料、手話通訳料含む
日本身体障害者補助犬学会
トナー、用紙代含む
お茶代他
8件 りそな銀行

【現金:1,808円 預金:1,641,237】

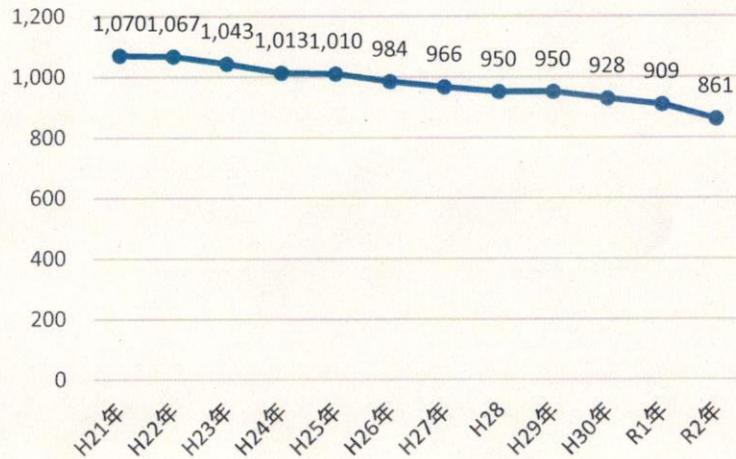
身体障害者補助犬を推進する議員の会 ご説明資料

令和4年2月22日
厚生労働省障害保健福祉部

身体障害者補助犬実働頭数の推移

盲導犬

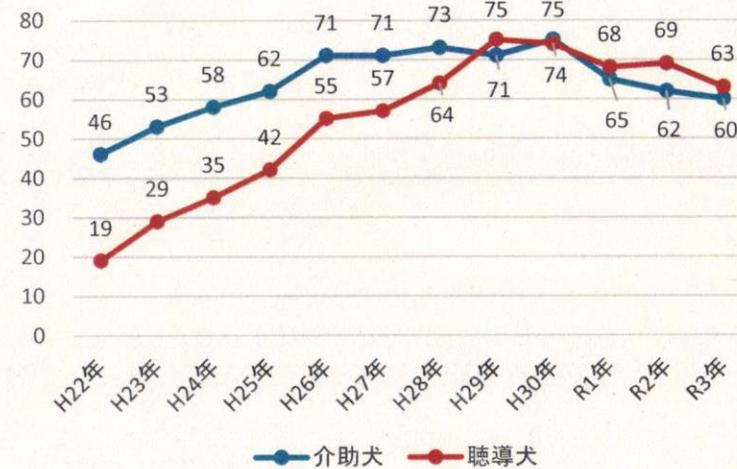
(頭数)



社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会自立支援部会盲導犬委員会による年次報告書(毎年度4月末付け)より抜粋(各年度3月末時点のデータ)

介助犬・聴導犬

(頭数)



指定法人から厚生労働省へ報告があったもの(各年度4月1日時点のデータ)

身体障害者補助犬の訓練及び認定等のあり方検討会

- 身体障害者補助犬の訓練や認定のあり方について検討し、適正な訓練・認定の実施に資すること等を目的として、「身体障害者補助犬の訓練及び認定等のあり方検討会」を開催。検討会の下にワーキンググループ(WG)を設け、介助犬・聴導犬の認定要領及び訓練基準の見直しについて具体的に議論。
- 認定要領については、介助犬・聴導犬の認定審査の標準化や透明性の確保、使用者の負担軽減等の観点から、次のとおりとりまとめ。
 - ・ 認定審査における犬の動作の実地検証に際してリモート方式(録画又はリアルタイムによる動画)が活用可能であることを明確化
 - ・ 審査委員会に参画する審査委員の職種に応じた役割等の明確化
 - ・ 指定法人に対する申請様式の統一化
- 訓練基準については、令和4年1月31日のワーキンググループにおける議論を踏まえ、第6回検討会で見直し案をとりまとめる予定。見直し案の主な内容は次のとおり。
 - ・ 介助犬・聴導犬の使用について相談があった際に使用者のニーズを適切に把握することが重要であることを明確化
 - ・ 介助犬・聴導犬のリタイア時期を一律に設定することは困難だが、認知機能や身体機能の低下等が現れてくる10歳を目安に身体機能进行评估
 - ・ 経験の蓄積があるため、習熟状況や使用者の負担を勘案しつつ、2頭目以降の合同訓練日数を訓練事業者の判断で短縮可能とする

〈開催経過〉

| 回数 | 開催時期 | 意見交換内容等 |
|-----|------------------------|---|
| 第1回 | 平成31年4月26日 | ○ 身体障害者補助犬の訓練・認定等に関する課題と対応案(フリートーキング) |
| 第2回 | 令和2年5月29日 (書面開催) | ○ 身体障害者補助犬の訓練事業所、指定法人における論点別の意見の集約 |
| 第3回 | 令和2年12月11日 | ○ 今後の議論の進め方、訓練基準・認定要領の見直しについて、質の向上・普及に向けた課題 |
| | 令和3年1月15日～ 令和3年2月1日 | ○ 訓練事業者・指定法人へのヒアリング |
| 第4回 | 令和3年3月8日 | ○ ヒアリング等を踏まえ、補助犬の訓練基準、認定要領の見直しに向けた再検討 ○ 訓練基準等の見直しに関するワーキンググループ発足について |
| | 令和3年7月26日 | |
| WG | 令和3年8月24日 | ○ 認定要領の見直しに係るワーキンググループ(全3回) |
| | 令和3年9月24日 | |
| 第5回 | 令和3年10月22日 | ○ 認定要領の見直し案について |
| | 令和3年11月15日 | |
| WG | 令和3年12月22日 | ○ 訓練基準の見直しに係るワーキンググループ(全3回) |
| | 令和4年1月31日 | |
| 第6回 | 令和4年2月28日 | ○ 訓練基準の見直し案について |

検討会及びワーキンググループの構成員について

◎座長 (五十音順・敬称略)

| 氏名 | 所属 | 分類 | 検討会 | 認定WG | 訓練WG |
|--------|--------------------------|-----------------|-----|------|------|
| 阿部 明子 | 日本サポートドッグ協会 | 訓練事業者(介・聴) | | | ○ |
| 有馬 もと | 日本聴導犬協会 | 指定法人・訓練事業者(介・聴) | | ○ | ○ |
| 有山 一博 | 全日本ろうあ連盟 | 障害者支援団体 | ○ | | |
| 飯塚 哲也 | 兵庫県社会福祉事業団 | 指定法人(介・聴) | | ○ | |
| 江藤 文夫 | 日本リハビリテーション連携科学学会 | 医師 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 小田 芳幸 | 横浜市リハビリテーション事業団 | 指定法人(介・聴) | | ○ | |
| 川崎 元広 | 日本介助犬福祉協会 | 指定法人(介・聴) | | ○ | |
| 菊地 通雄 | 日本身体障害者団体連合会 | 障害者支援団体 | ○ | | |
| 北澤 光大 | 兵庫介助犬協会 | 訓練事業者(介) | | | ○ |
| 木村 佳友 | 日本介助犬使用者の会 | 介助犬ユーザー | | ○ | ○ |
| 佐藤 史子 | 日本理学療法士協会 | 専門職 | ○ | ○ | ○ |
| 砂田 眞希 | ドッグフォーライフジャパン | 訓練事業者(介・聴) | | | ○ |
| 立石 雅子 | 日本言語聴覚士協会 | 専門職 | ○ | ○ | ○ |
| 長岡 雄一 | 東京視覚障害者生活支援センター | 障害者支援団体 | ○ | | |
| 中野 泰志 | 慶應義塾大学 | 有識者 | ○ | | |
| 奈木 修人 | 横浜市健康福祉局障害自立支援課 | 自治体職員 | ○ | | |
| 橋井 正喜 | 日本視覚障害者団体連合 | 障害者支援団体 | ○ | | |
| 朴 善子 | 日本補助犬協会 | 指定法人・訓練事業者(介・聴) | | ○ | ○ |
| 松井 和夫 | 名古屋市総合リハビリテーション事業団 | 指定法人(介・聴) | | ○ | |
| 松本 江理 | 日本聴導犬パートナーの会 | 聴導犬ユーザー | | ○ | ○ |
| 三浦 靖史 | 日本身体障害者補助犬学会 / 神戸大学大学院 | 有識者 | ○ | | |
| 水上 言 | 日本介助犬協会 | 訓練事業者(介) | | | ○ |
| 水越 美奈 | 日本獣医生命科学大学 | 獣医師 | ○ | ○ | ○ |
| 水越 みゆき | 日本聴導犬推進協会 | 訓練事業者(聴) | | | ○ |
| 森戸 崇行 | 千葉県身体障害者福祉事業団 / 日本社会福祉士会 | 指定法人(介) / 専門職 | ○ | ○ | ○ |
| 吉田 文 | 日本作業療法士協会 | 専門職 | ○ | ○ | ○ |

身体障害者補助犬の普及啓発

●新聞突出し広告

掲載紙：読売、朝日、毎日、
産経、日経、東京等
計78紙に掲載

掲載期間：令和3年
11月16日(火)
～11月21日(日)
のうち1日

※R3.11.16読売新聞ほか掲載分

●Yahoo!ニュースバナー広告

掲載サイト：Yahoo!ニュース
(スマホ版)
掲載期間：令和3年
11月29日(月)
～12月5日(日)

※R3.11.29Yahoo!ニュース(スマホ版)より

●政府広報ラジオ(令和3年11月21日放送)

青木源太・足立梨花
Sunday Collection

身体障害者補助犬の普及啓発 (CM) (文字で読む)

目や耳、手足に障害のある方をサポートする「補助犬」をご存じですか。
補助犬は、特別な訓練を受けています。また、手入れも行き届いており清潔です。
このため、様々な場所で同伴が可能です。

電車、バスでは、
シートなどを汚さないように足もとで静かに待機できます。
飲食店、商業施設では、
大人しくテーブルや椅子のそばで待機できます

補助犬は、障害のある方が、自立と社会参加をするための大切なパートナーです。
政府では、障害のある方が日々の暮らしをよりよく過ごせるような社会の実現を目指しています。

ご理解のほどよろしくお願いたします。
明日の暮らしをわかりやすく
♪ 政府広報 ♪

※1 政府広報オンラインより ※2 TOKYOFMをキー局に、全38局ネットで放送。

●啓発動画をYouTubeに掲載(令和3年5月～)

掲載動画(計5種)：

- もっと知って介助犬!
- もっと知って聴導犬!
- もっと知って盲導犬!
- 補助犬もっと知ってMOVIE PART1、PART2

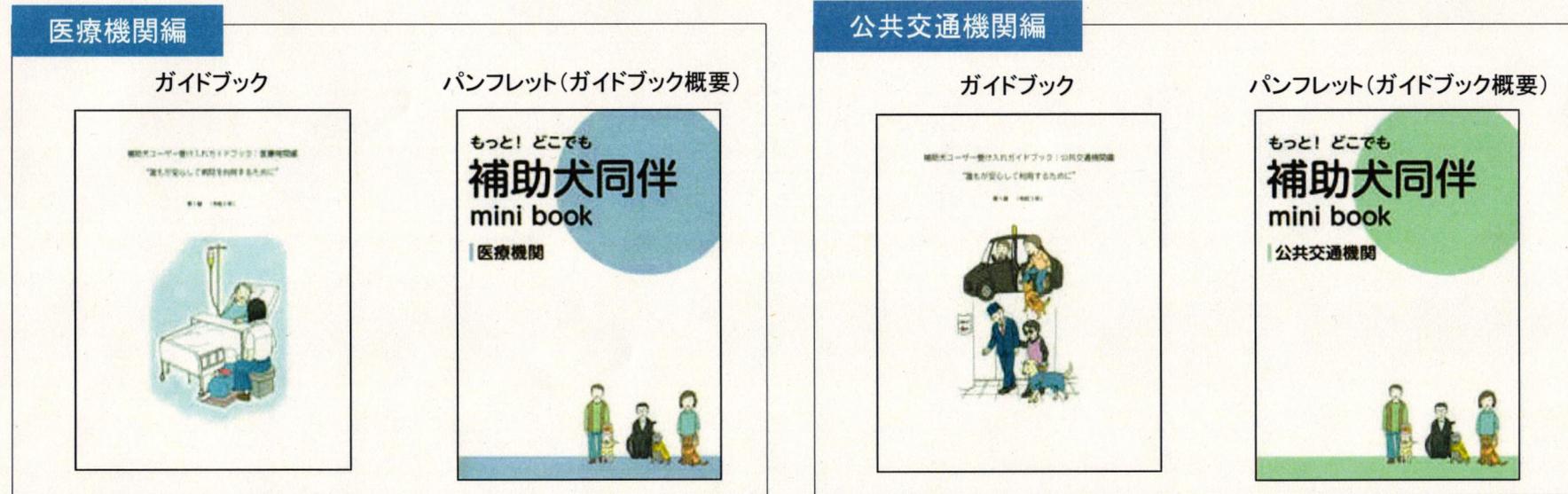
※厚生労働省YouTubeチャンネルより

身体障害者補助犬の受け入れ促進

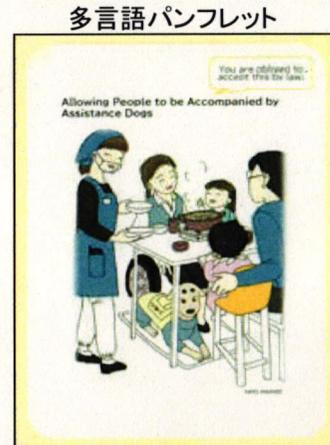
令和元年度～令和2年度厚生労働科学研究「身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究」により、「受け入れガイドブック」(業界別)及び「衛生管理の手引き」を作成、周知。

●補助犬ユーザー受け入れガイドブック(計7編)

(例)



●補助犬使用者及び訓練事業者のための補助犬衛生管理の手引き



※1 厚労省ホームページへの掲載、関係行政機関(国交省、農水省、都道府県等)の協力による各種業界への周知を実施。
 ※2 受け入れガイドブックは、医療機関編、公共交通機関編、宿泊施設編、飲食店編、複合商業施設編、賃貸住宅・分譲マンション編、保健所編を作成。多言語パンフレットも作成。(英語 中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、ベトナム語)

身体障害者補助犬育成促進事業

地域生活支援事業費等補助金の内数

令和3年度予算額513億円⇒令和4年度予算(案)518億円

(国庫補助率:1/2)

(地域生活支援促進事業 実施主体:都道府県)

1 目的

身体障害者の自立と社会参加を促進するため、身体障害者補助犬の育成等に要する費用を助成するとともに、地域における補助犬に対する理解促進を図ることにより、補助犬ユーザーの社会参加がより一層促進されることを目的とする。

2 事業内容

(1)補助犬の育成

補助犬を育成するための訓練を実施する。

なお、本事業の対象経費は、身体障害者補助犬法第16条第1項の認定を受けた補助犬の訓練に要した経費に限る。

(2)育成計画の作成

ア 補助犬に関するニーズの把握

各都道府県における補助犬の使用者数及び使用希望者数の把握。

イ 供給体制の把握と計画的な育成に向けた連携体制の構築

訓練事業者の育成状況(育成可能頭数・見込み等)を把握し、アによって把握したニーズを踏まえ、計画的な対応を行うための広域的な連携体制を構築する。

(3)理解促進、普及・啓発

地域住民等に対するイベント等の開催、広報など、補助犬に対する理解促進や補助犬の普及・啓発を図るための取組を行う。

身体障害者補助犬使用希望者の訓練の効果測定のための研究

【目的】

ニーズや適性のある障害者に適切に補助犬のサービスが提供されるよう事業者のサービスの質を確保することを目的として、下記①から③の調査研究を行う。

- ① 補助犬が適性のある障害者に適切に提供されるよう使用希望者の適性評価の適切なあり方について検討。
- ② 使用希望者と補助犬の訓練の評価や、事業者のフォローアップの適切なあり方について検討。
- ③ 補助犬や事業者のサービスの質を確保するため、他制度との比較検討等。

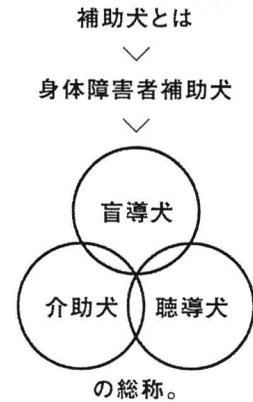
【研究体制】

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|--------------------------------------|
| 研究代表者 | 清野 絵 | 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 室長 |
| 研究分担者 | 小澤 温 | 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 |
| 研究分担者 | 山本 真理子 | 帝京科学大学 生命科学部 アニマルサイエンス学科 講師 |
| 研究協力者 | 飛松 好子 | 国立障害者リハビリテーションセンター 顧問 |
| | 石川 浩太郎 | 国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科 医長 |
| | 菊地 尚久 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長 |
| | 高柳 友子 | 一般社団法人日本身体障害者補助犬学会 理事・愛知医科大学医学部 客員教授 |
| | 田中 雅之 | 名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長 |
| | 渡邊 学 | 東京大学 新領域創成科学研究科盲導犬歩行学分野 特任教授 |

補助犬って？



特定非営利活動法人
日本補助犬情報センター
JAPANESE SERVICE DOG RESOURCE CENTER



3つのタイプがある補助犬

979

盲導犬 861頭
Guide dogs

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角、段差を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけています。



聴導犬 61頭
Hearing dogs

音が聞こえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き音などを聞き分けて教えます。外では後ろから来る自転車や車のクラクション、非常ベルの音などを教えます。聴導犬と書かれた表示をつけています。



介助犬 57頭
Service dogs

手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行います。歩行介助を行う介助犬もいます。介助犬と書かれた表示をつけています。



盲導犬



盲導犬

視覚障害者をサポート
(全盲は1割)

ナビ機能はない

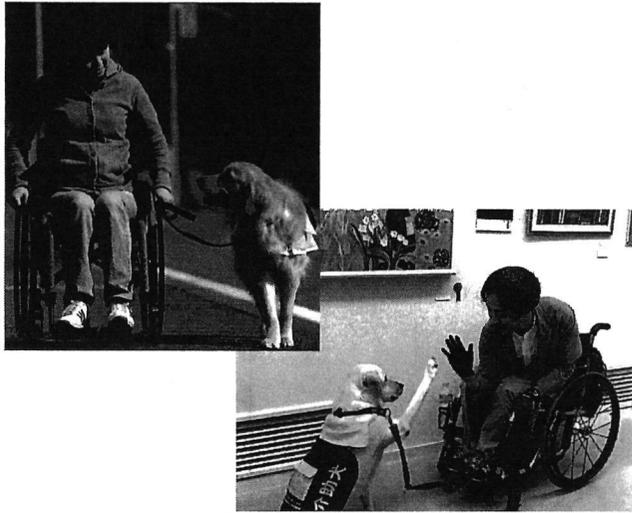
教えるのは3つ
曲がり角・段差・障害物

信号の色はわからない



※ 2021年10月1日現在

介助犬



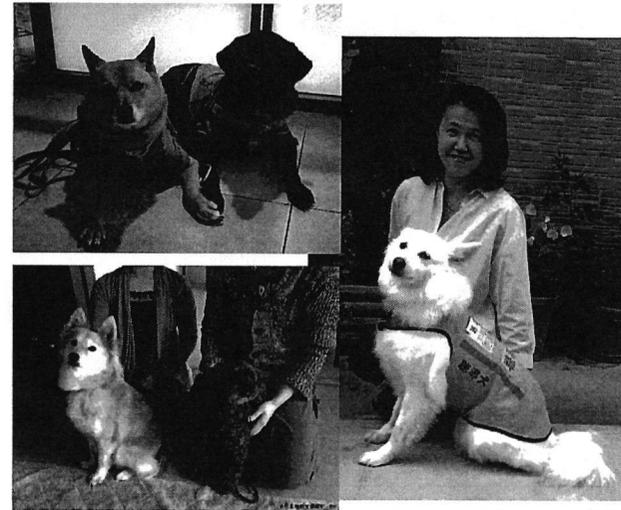
介助犬

肢体不自由者の日常生活
動作をサポート

落とした物を拾って渡す
指示したものを持ってくる
車椅子の牽引・・・など

6人に1人が事故による
中途障害

聴導犬



聴導犬

聴覚障害者に必要な音を
教え音源へ誘導

スマホ着信、FAX、家電の
音、赤ちゃんの泣き声など

感音性難聴・伝音性
難聴・ろうあ・・・など

身体障害者補助犬法

➔ 2002年 身体障害者補助犬法成立!
2007年 身体障害者補助犬法一部改正!

身体障害者補助犬法は、
身体障害者の自立と社会参加の促進を目的とし、
2002年5月22日に成立しました。
全ての公共施設・公共交通機関や医療機関、デパート、
宿泊施設、映画館やレジャー施設、個人店舗など
全ての民間施設で補助犬の受け入れが義務付け
られています。(不特定かつ多数の者が利用する施設)

※ 2016年4月には「障害を理由とする差別の解消の推
進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行。

※ 2020年東京オリンピックパラリンピックには海外から
も多様なお客様が来日予想。インバウンド効果に期待!



WHY?

BUT

補助犬同伴拒否がなくならない・・・

WHY?

まだまだ認知が足りていない現状

2002年
身体障害者補助犬法 成立

日本で初めて、
障害者のアクセス権を
認めた法律！



「世界で一番『ワン』がフルな国へ もっと知って！
補助犬のこと」(くらし☆解説)HPより

補助犬同伴拒否 = 障害者を拒否...?

補助犬を拒否されたことがある? 

完全拒否されたことがある

66% (2015年)



(日本補助犬情報センター)

| | 2005年 | 2015年 |
|----------|-------|-------|
| 医療機関 ... | 10% | 47% |
| 飲食店 ... | 36% | 44% |
| タクシー ... | 17% | 30% |
| 宿泊施設 ... | 22% | 21% |
| 小売店 ... | 7% | 16% |

「世界で一番『ワン』がフルな国へ もっと知って！ 補助犬のこと」(くらし☆解説)HPより

コロナが教えてくれたこと、コロナがもたらした困難

COVID-19

身体障害者補助犬を推進する議員の会 YouTubeチャンネル

身体障害者補助犬を推進する議員の会主催【補助犬の日啓発企画】
「補助犬とどこへでもいける社会にするために～補助犬法と障害者差別解消法の観点から～」

2021年5月22日(補助犬法成立記念日) 12時～公開

第一部 32分(全編字幕あり)

- ・身体障害者補助犬を推進する議員の会 会長 尾辻秀久 挨拶
- ・補助犬議連幹事より挨拶
- ・ミニレクチャー 大胡田弁護士(全盲)「補助犬とどこへでもいける社会にするために」

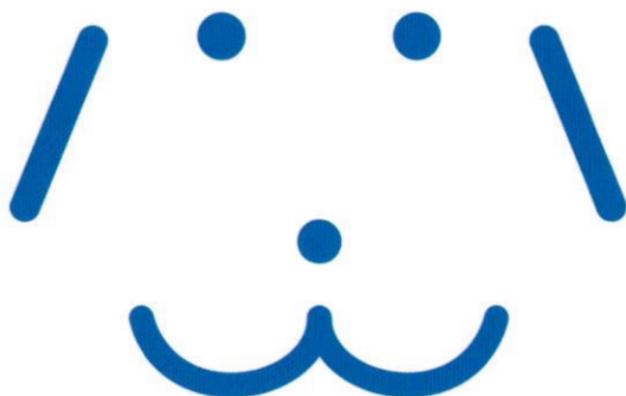


第二部 46分(字幕、手話通訳あり)

- ・クロストーク 大胡田弁護士と各補助犬ユーザー
- 協力: 全日本盲導犬使用者の会、日本介助犬使用者の会、日本聴導犬パートナーの会
- 補助犬法には罰則規定がないことについて
- 補助犬法の「努力義務」について
- 補助犬ユーザーの「権利と義務」について
- 同伴拒否を受けた時のSNS発信について



Welcome!



ほじょ^{けん}犬

Assistance Dogs Welcome !

- Guide Dog, Service Dog, Hearing Dog -

しんたいしょうがいしゃほじょけんほう

もうどうけん

身体障害者補助犬法により盲導犬・

かいじょけん

ちょうどうけん

どうはん

介助犬・聴導犬は同伴できます



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare